

JU中販連定時総会懇親会



JU中販連
塚田 長志会長・理事長



オリエントコーポレーション
梅宮 真代表取締役社長



自民党選挙対策委員長
自民党自動車議連会長
西村 康稔先生
(衆・兵庫9区)



前防災担当大臣
坂井 学先生
(自民 衆・神奈川5区)

6月4日(木)東京プリンスホテルにおいて、「令和8年度JU中販連定時総会懇親会」を開催しました。

当日の懇親会は衆議院本会議での補正予算の採決と重なってしまいましたが、自民党の国会議員の先生方をはじめ、関係企業・関係団体の皆様に多数ご出席いただきました。

懇親会は、まず、主催者を代表してJU中販連 塚田長志会長が「前会長からバトンを引き継ぎ、この一年間、組織と会員の皆様のために何をなすべきかを自問自答し、行動してまいりました。我々が今後もこの業界を維持していくためには、お客様から選ばれ、末永くお付き合いいただける販売店を目指さなければなりません。それこそが、中販連組織が存在する真の意義であると考えております。そのために、消費者保護を徹底し、消費者から真に信頼・認知される業界を皆様とともに築き上げることが、私の任務であります。本日の総会でも、貴重なご意見をいただきました。議論の場上がった課題については、会員の皆様のために『何ができるか』を徹底して検討し、組織の発展に繋げてまいる所存です」と決意を述べました。

続いて、賛助会員を代表して株式会社オリエントコーポレーションの梅宮真代表取締役社長が「足元の自動車市場ですが、中古車市場においては底堅い需要があると考えております。これは価格面の優位性に加え、限られた資源を有効活用しようという消費者の意識変化も背景にあるでしょう。しかし何よりも、JU中販連が長年にわたり、ルールの整備や会員販売店への情報発信、研修機会の提供、さらには車両状態や価格・保証内容の透明化を推進してこられた成果であり、消費者が安心して中古車を選べる市場を作り上げられた賜物であると確信しております。弊社はこれからもJU会員の皆様の現場に寄り添い、課題を共有し、ともに成長し続けるパートナーでありたいと考えております」と挨拶されました。

自民党選挙対策委員長・自民党自動車議連会長の西村康稔衆議院議員や前防災担当大臣の坂井学衆議院議員から壇上で中古車業界に対する励ましのお言葉をいただいた後、JU中販連 高橋成人副会長の乾杯の発声で祝宴がスタートしました。



多数のご来賓出席のもと、JU中販連 高橋副会長が乾杯を発声

ご出席いただいた
自民党国会議員の
先生方



西山 尚利先生
(衆・福島1区)



尾身 朝子先生
(衆・比例北関東)



柴山 昌彦先生
(衆・埼玉8区)



若宮 健嗣先生
(衆・東京5区)



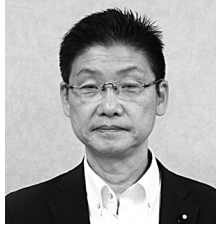
平沢 勝栄先生
(衆・東京17区)



今岡 植先生
(衆・東京26区)



岩崎 比菜先生
(衆・比例南関東)



若林 健太先生
(衆・長野1区)



細田 健一先生
(衆・比例東海)



島田 智明先生
(衆・比例近畿)



逢沢 一郎先生
(衆・岡山1区)



長谷川 淳二先生
(衆・愛媛3区)



平井 卓也先生
(衆・比例四国)



古川 康先生
(衆・佐賀2区)



西銘 恒三郎先生
(衆・沖縄4区)



小里 泰弘先生
(衆・比例九州)



上野 宏史先生
(衆・比例九州)



加藤 明良先生
(参・茨城)



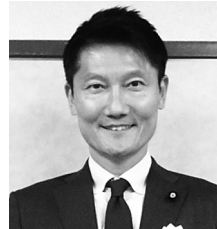
上月 良祐先生
(参・茨城)



臼井 正一先生
(参・千葉)



猪口 邦子先生
(参・千葉)



朝日 健太郎先生
(参・東京)



若林 洋平先生
(参・静岡)



藤川 政人先生
(参・愛知)



渡辺 猛之先生
(参・岐阜)



滝波 宏文先生
(参・福井)



加田 裕之先生
(参・兵庫)



小林 孝一郎先生
(参・岡山)



西田 英範先生
(参・広島)



松下 新平先生
(参・宮崎)



井上 義行先生
(参・比例)



梶原 大介先生
(参・比例)



藤井 一博先生
(参・比例)

JU中販連 定時総会懇親会

一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会・日本中古自動車販売商工組合連合会



JU中販連正副会長・正副理事長が登壇。新園副会長による中締め

令和8年度 合同理事会・総会



JU中販連・JU中商連は、6月4日、東京プリンスホテルにおいて、令和8年度第2回合同理事会並びに中販連第52回定時総会・中商連第49回通常総会を開催しました。

総会上程議案である令和7年度事業報告並びに収支決算、監査報告、令和8年度事業計画案並びに収支予算案、入会金・会費規定並びに流通事業特別会費、賦課金徴収基準、借入限度額及び1会員に対する貸付・債務保証の限度額、補充理事の選任、税制関連、各委員会の報告等について審議を行い、各議案については、原案通り可決されました。

■塚田会長挨拶

「皆様、本日は令和8年度第2回合同理事会・総会にご出席いただき、心より感謝申し上げます。また、本日ご出席の皆様方には、JU中販連の各種事業にご尽力いただいておりますことを、この場をお借りして心から御礼申し上げます。

さて、現在の中古車業界を取り巻く環境は、大きな転換期を迎えております。そこで、今後ますます重要になるのが、「選ばれるお店」であり続けることだと思っております。地域のお客様から「このお店なら安心できる」「またお願いしたい」と思っただけの、「選ばれるお店」を1社でも多く増やして



塚田会長挨拶

いくことが、業界全体の信頼向上につながるのではないのでしょうか。そのためには、信頼向上の第一歩である、会員一社一社のコンプライアンス徹底、支払総額表示も含めた自動車公正競争規約や各種法令の遵守を今一度お願いいたします。

また、各委員会において展開している事業の進捗状況についてですが、昨年度行われた各種キャンペーンでは好実績を残すなど、各事業はおおむね順調に推移いたしております。これもひとえに皆様方のご尽力によるものと、深く感謝申し上げます。

本年度は全国規模の重要な事業が予定されており

ます。11月の「全国金融委員長会議」の他に、「検査員技能コンテスト全国大会」が12月に予定されています。これらの事業を成功させるためには、各県の会長をはじめとする会員の皆さま、そして、全国の事務局の皆さまのご協力が不可欠であります。

最後に、本日の理事会総会は重要案件が多数上程されます。慎重審議並びに、スムーズな議事の進行にご協力いただきますようお願い申し上げます、開会のご挨拶とさせていただきます」

■御来賓挨拶

経済産業省製造産業局田中一成審議官および国土交通省物流・自動車局櫻井紀彦自動車情報課長よりご挨拶をいただきました。

経済産業省製造産業局 田中一成審議官挨拶

「日頃より中古車市場の健全な発展にご尽力いただき、誠に感謝申し上げます。中東情勢の対応について、不確実性が高まっている中、エネルギーや原材料の安定供給を如何に行っていくかが我々の使命です。石油やナフサは日本全体として必要な量を確保しておりますが、一部では流通の偏りや根詰ま



経済産業省製造産業局 田中一成審議官



左から経済産業省自動車課 小楠明秀係長、堀江大地課長補佐

りが発生しています。解決に向けて経済産業省で情報提供窓口を設置し、根詰まり箇所を特定、サプライチェーン関係者に供給の見通しを共有するとともに、需要側にも通常量の購入を維持するよう要請し、根詰まりを順次解消しているところでございます。経済産業省だけでなく、国土交通省整備局・運輸局と協力して取り組んでおります。お困りごとがございましたら、是非情報提供窓口もしくは我々にご相談賜ればと思います。

さて、国内の中古車市場の動向は2025年登録台数が約650万台と、一昨年、昨年と同程度の供給だと伺っております。環境性能割が本年3月31日を以って廃止されたので、これを契機に市場の活性化につなげていただきたいと思います。

JU中販連では中古自動車販売士制度やJU適正販売店認定制度等、様々な取り組みを行っております。このような消費者保護の取り組みを通じて、業界の健全な発展と消費者利益にご尽力いただいていること、誠に感謝申し上げます。加えて、12月には検査員技能コンテストの全国大会が開催されると伺っております。自動車構造が複雑化する中で、検査員の皆様が日頃の業務の中で培われてきた高度な技術と豊富な知識を存分に発揮して、お互いに切磋琢磨しながら技術を競い合う機会だと伺っております。こうした取り組みを通じて、中古車業界がユーザーから高い信頼を得るとともに、健全に、持続的に発展することを心より期待しております」

国土交通省物流・自動車局 櫻井紀彦自動車情報課長挨拶

「日頃より自動車行政にご高配賜りまして、この場をお借りして心より御礼申し上げます。検査登録について、令和10年1月にMOTASの公開を予定しております。公開を境に、DX化をより一層推進したいと考えております。具体的には令和7年度のOSSの利用実績は、中古車の新規登録では0.5%、中間登録では4.8%という状況です。利用率の向上は我々の一番の課題です。課題解決のために、予備検査証を用いた中古車新規登録のOSS申請を可能にすること、記録事務代行制度のより一層の普及促進をしていきたいと考えております。加えて、4つの支局で添付書類の電子提出サービスを試行的に行っており、全国的に展開していきたいと思っております。こうした取り組みを通してOCRシートの廃止



国土交通省物流・自動車局 櫻井紀彦自動車情報課長



国土交通省物流・自動車局自動車情報課
細川希課長補佐

等、ペーパーレス、キャッシュレスを進めてまいりたいと思っておりますので、是非OSSの利用促進を引き続きお願いいたします。

また、4月24日に発表した図柄入りナンバープレートに関しまして、図柄ナンバーのみは令和9年11月、ご当地ナンバーとのセットに関しましては令和11年5月の交付を目指し、自治体中心にご検討いただいております。また、横浜グリーンEXPOの特別仕様ナンバーも是非ご活用いただけますと幸いです。

一方で、本年1月から中古自動車検査に関しまして、指定部品を取り付けたままであっても持ち込み検査無しで保安基準適合証を交付することを可能といたしました。5か月経過し、負担軽減や納期削減に繋がっていると伺っております。また、車検に関しましても昨年4月から2か月前受験可能が可能となっております。皆様の業務フローの一層の効率化を図れることを期待しております。

最後に、中東情勢についてですが、燃料油等の安定供給の確保について政府一丸となって取り組んでおります。経済産業省とも連携した上で、運輸局にも相談窓口を設置しております。是非お困りごとについて、相談窓口をご活用いただき、お話をお寄せいただけたらと思います。

以上を通じて、引き続き中古車を含めた自動車の円滑な流通、安全確保、環境保全に貢献してまいりたいと思っております」

■選任証の交付、表彰規程に基づく 表彰状の贈呈、事業部門表彰

来賓挨拶後、新任理事に選任証が交付され、続い

て、表彰規定に基づく表彰状の贈呈、オークション・共同購買・金融事業・JUテントリ・協会加入促進の部門別上位の表彰が行われました。

金融事業の表彰では、オリエントコーポレーションの金子茂之執行役員にご出席いただき、挨拶をいただきました。



黒田理事(JU東京会長・理事長(左))へ委嘱状を交付

また、海津名誉会長より、昨年秋の旭日中綬章受章祝賀会の御礼の挨拶をいただきました。



海津名誉会長

令和7年度年間事業部門表彰者一覧

オークション表彰 【実績部門】

第1位	JU岐阜
第2位	JU愛知
第3位	JU埼玉

【伸長率部門】

第1位	JU山形
第2位	JU鳥取
第3位	JU宮崎

JUテントリ表彰 【実績部門】

第1位	JU愛知
第2位	JU千葉
第3位	JU埼玉

【伸長率部門】

第1位	JU千葉
第2位	JU山梨
第3位	JU長崎

共同購買表彰 【実績部門】

第1位	JU沖縄
第2位	JU埼玉
第3位	JU愛知

【伸長率部門】

第1位	JU岐阜
第2位	JU岡山
第3位	JU徳島

協会加入促進表彰 【総合部門(純増数)】

第1位 JU兵庫

【群別協会対抗戦褒賞】

A群 JU兵庫 B群 JU三重
C群 JU滋賀 D群 JU青森

金融事業表彰 【総合実績部門】

第1位	JU埼玉
第2位	JU大阪
第3位	JU愛知

【総合達成率部門】

第1位	JU宮城
第2位	JU奈良
第3位	JU沖縄



オリエントコーポレーション金子茂之執行役員の挨拶



オリコ社



オリコオートリース社



永年勤続表彰



オークション表彰



共同購買表彰



金融事業表彰



JUテントリ表彰



協会加入促進表彰

令和8年6月総会懇親会 出席国会議員一覧

■自民党・衆議院 ☆印はお写真掲載の先生です

※順不同

加藤 貴弘先生(衆・北海道1区)	福田 かおる先生(衆・東京18区)	大串 正樹先生(衆・兵庫6区)
高橋 祐介先生(衆・北海道2区)	木原 誠二先生(衆・東京20区)	山田 賢司先生(衆・兵庫7区)
和田 義明先生(衆・北海道5区)	小田原 潔先生(衆・東京21区)	☆ 西村 康稔先生(衆・兵庫9区)
東 国幹先生(衆・北海道6区)	川松 真一朗先生(衆・東京23区)	渡海 紀三朗先生(衆・兵庫10区)
鈴木 貴子先生(衆・北海道7区)	井上 信治先生(衆・東京25区)	山口 壯先生(衆・兵庫12区)
中川 紘一先生(衆・北海道11区)	☆ 今岡 植先生(衆・東京26区)	☆ 島田 智明先生(衆・比例近畿)
津島 淳先生(衆・青森1区)	安藤 たかお先生(衆・東京28区)	石田 真敏先生(衆・比例近畿)
木村 次郎先生(衆・青森3区)	森原 紀代子先生(衆・比例東京)	☆ 逢沢 一郎先生(衆・岡山1区)
富樫 博之先生(衆・秋田1区)	中西 健治先生(衆・神奈川3区)	山下 貴司先生(衆・岡山2区)
御法川 信英先生(衆・秋田3区)	☆ 坂井 学先生(衆・神奈川5区)	石破 茂先生(衆・鳥取1区)
土井 亨先生(衆・宮城1区)	上原 正裕先生(衆・神奈川9区)	赤澤 亮正先生(衆・鳥取2区)
西村 明宏先生(衆・宮城3区)	田中 和徳先生(衆・神奈川10区)	高見 康裕先生(衆・島根2区)
☆ 西山 尚利先生(衆・福島1区)	丸田 康一郎先生(衆・神奈川13区)	岸田 文雄先生(衆・広島1区)
坂本 竜太郎先生(衆・福島4区)	山際 大志郎先生(衆・神奈川18区)	新谷 正義先生(衆・広島4区)
伊藤 信太郎先生(衆・比例東北)	草間 剛先生(衆・神奈川19区)	小林 史明先生(衆・広島6区)
五十嵐 清先生(衆・栃木2区)	☆ 岩崎 比菜先生(衆・比例南関東)	高村 正大先生(衆・山口1区)
築 和生先生(衆・栃木3区)	☆ 若林 健太先生(衆・長野1区)	岸 信千世先生(衆・山口2区)
石坂 太先生(衆・栃木4区)	藤田 ひかる先生(衆・長野2区)	平沼 正二郎先生(衆・比例中国)
茂木 敏充先生(衆・栃木5区)	後藤 茂之先生(衆・長野4区)	寺田 稔先生(衆・比例中国)
鷲尾 英一郎先生(衆・新潟4区)	宮下 一郎先生(衆・長野5区)	吉田 真次先生(衆・比例中国)
中曽根 康隆先生(衆・群馬1区)	井林 辰憲先生(衆・静岡2区)	井原 巧先生(衆・愛媛2区)
井野 俊郎先生(衆・群馬2区)	細野 豪志先生(衆・静岡5区)	☆ 長谷川 淳二先生(衆・愛媛3区)
福田 達夫先生(衆・群馬4区)	熊田 裕通先生(衆・愛知1区)	尾崎 正直先生(衆・高知2区)
田所 嘉徳先生(衆・茨城1区)	辻 秀樹先生(衆・愛知2区)	☆ 平井 卓也先生(衆・比例四国)
額賀 福志郎先生(衆・茨城2区)	水野 よしひこ先生(衆・愛知3区)	中山 展宏先生(衆・比例四国)
葉梨 康弘先生(衆・茨城3区)	丹羽 秀樹先生(衆・愛知6区)	鬼木 誠先生(衆・福岡2区)
梶山 弘志先生(衆・茨城4区)	石井 拓先生(衆・愛知13区)	宮内 秀樹先生(衆・福岡4区)
鈴木 拓海先生(衆・茨城5区)	今枝 宗一郎先生(衆・愛知14区)	栗原 渉先生(衆・福岡5区)
☆ 尾身 朝子先生(衆・比例北関東)	棚橋 泰文先生(衆・岐阜2区)	麻生 太郎先生(衆・福岡8区)
小林 鷹之先生(衆・千葉2区)	武藤 容治先生(衆・岐阜3区)	武田 良太先生(衆・福岡11区)
鹿嶋 祐介先生(衆・千葉4区)	川崎 ひでと先生(衆・三重2区)	岩田 和親先生(衆・佐賀1区)
英利 アルフィヤ先生(衆・千葉5区)	石原 正敬先生(衆・三重3区)	☆ 古川 康先生(衆・佐賀2区)
松本 尚先生(衆・千葉13区)	☆ 細田 健一先生(衆・比例東海)	浅田 眞澄美先生(衆・長崎1区)
新藤 義孝先生(衆・埼玉2区)	長田 紘一郎先生(衆・比例東海)	広瀬 建先生(衆・大分2区)
黄川田 仁志先生(衆・埼玉3区)	上田 英俊先生(衆・富山2区)	岩屋 毅先生(衆・大分3区)
井原 隆先生(衆・埼玉5区)	橋 慶一郎先生(衆・富山3区)	木原 稔先生(衆・熊本1区)
☆ 柴山 昌彦先生(衆・埼玉8区)	大岡 敏孝先生(衆・滋賀1区)	西野 太亮先生(衆・熊本2区)
山口 晋先生(衆・埼玉10区)	世耕 弘成先生(衆・和歌山2区)	坂本 哲志先生(衆・熊本3区)
三ッ林 裕巳先生(衆・埼玉13区)	勝目 康先生(衆・京都1区)	金子 恭之先生(衆・熊本4区)
田中 良生先生(衆・埼玉15区)	北神 圭朗先生(衆・京都4区)	古川 禎久先生(衆・宮崎3区)
山田 美樹先生(衆・東京1区)	田野瀬 太道先生(衆・奈良3区)	☆ 西銘 恒三郎先生(衆・沖縄4区)
石原 宏高先生(衆・東京3区)	中山 泰秀先生(衆・大阪4区)	☆ 小里 泰弘先生(衆・比例九州)
☆ 若宮 健嗣先生(衆・東京5区)	とかしき なおみ先生(衆・大阪7区)	☆ 上野 宏史先生(衆・比例九州)
門 寛子先生(衆・東京8区)	東田 淳平先生(衆・大阪9区)	白坂 亜紀先生(衆・比例九州)
大空 幸星先生(衆・東京15区)	谷川 とむ先生(衆・大阪19区)	保岡 宏武先生(衆・比例九州)
☆ 平沢 勝栄先生(衆・東京17区)	盛山 正仁先生(衆・兵庫1区)	

■自民党・参議院 ☆印はお写真掲載の先生です

船橋 利実先生(参・北海道)	☆ 藤川 政人先生(参・愛知)	中西 祐介先生(参・徳島高知)
石井 浩郎先生(参・秋田)	☆ 渡辺 猛之先生(参・岐阜)	大家 敏志先生(参・福岡)
清水 真人先生(参・群馬)	野上 浩太郎先生(参・富山)	山下 雄平先生(参・佐賀)
☆ 加藤 明良先生(参・茨城)	☆ 滝波 宏文先生(参・福井)	松村 祥史先生(参・熊本)
☆ 上月 良祐先生(参・茨城)	西田 昌司先生(参・京都)	☆ 松下 新平先生(参・宮崎)
☆ 臼井 正一先生(参・千葉)	堀井 巖先生(参・奈良)	☆ 井上 義行先生(参・比例)
☆ 猪口 邦子先生(参・千葉)	☆ 加田 裕之先生(参・兵庫)	☆ 梶原 大介先生(参・比例)
石井 準一先生(参・千葉)	☆ 小林 孝一郎先生(参・岡山)	☆ 藤井 一博先生(参・比例)
☆ 朝日 健太郎先生(参・東京)	小野田 紀美先生(参・岡山)	今井 絵理子先生(参・比例)
鈴木 大地先生(参・東京)	青木 一彦先生(参・鳥取島根)	舞立 昇治先生(参・比例)
浅尾 慶一郎先生(参・神奈川)	☆ 西田 英範先生(参・広島)	阿達 雅志先生(参・比例)
三原 じゅん子先生(参・神奈川)	北村 経夫先生(参・山口)	鈴木 宗男先生(参・比例)
☆ 若林 洋平先生(参・静岡)	磯崎 仁彦先生(参・香川)	片山 さつき先生(参・比例)

JUクレジット サマーキャンペーンがいよいよスタート!

[目標取扱高260億]

「JUクレジット サマーキャンペーン」を7月の1ヶ月間実施します。

スプリングキャンペーンが終了し息つく間もないところですが、全体目標を取扱高260億円、取り扱い件数12,374件、JUカード1,361枚としサマーキャンペーンを推進します。

目標達成に向けてJUショップの皆様のご協力をお願いします。

また、今年度も4月から1年にわたり会員向け表彰企画「JUクレジット年間グランプリ」を実施しております。JUオートローン、JUオートリース「安心コミコミプラン」の2部門にポイントを設け、合計ポイントを競いますので、各部門とも積極的なお取組みをお願いします。

なお、令和7年度の表彰式を以下日程で開催いたします。各ブロックから選出された全国優秀会員店、最優秀会員店賞：MVP、各部門の上位3社ならびにグロース部門の表彰が行われます。

※グロース部門：入会年数部門(入会3年以内)、前年伸長率部門

■令和7年度JUクレジット年間グランプリ表彰式

開催日時 令和8年7月13日

開催場所 第一ホテル東京

日本中古自動車販売商工組合連合会

(株)オリエントコーポレーション

(株)オリコオートリース

The poster for the 2024 Annual Grand Prix (令和8年度年間グランプリ) is displayed on a stage with curtains. It features a silver sports car and lists the following details:

- 実施期間** 令和8年4月1日 > 令和9年3月31日
- ポイント**
 - JUオートローン・安心コミコミプランにポイントを加算し合計ポイントを競います
 - JUオートローン……………1件1P+100万円が2P
 - JUオートリース「安心コミコミプラン」……………1件1P+100万円が3P
- 全国表彰会員** [実施期間中の合計ポイント上位会員を各ブロック表彰社数に応じて選出]
 - 北海道:2社 東北:2社 関東甲信越:10社 中部:5社 近畿:5社 中国四:3社 九州:3社
- 表彰部門**
 - JUオートローン部門 全国第1位~第3位
 - 安心コミコミプラン部門 全国第1位~第3位
- 最優秀賞MVP**
- MVP表彰基準** [下記2部門とも取組があり、表彰基準をクリアし最も合計ポイントの高い会員を表彰します]
 - JUオートローン……2億4000万円
 - 安心コミコミプラン……6000万円
- グロースAward (グロース部門表彰)**
 - division入会年数 (入会年数部門)
 - division伸長率 (前年伸長率部門)

At the bottom, it lists the organizing bodies: 日本中古自動車販売商工組合連合会, (株)オリエントコーポレーション, and (株)オリコオートリース.

防犯だより

深夜帯における連続侵入窃盗事件に注意！

本年2月下旬から、店舗事務所等に保管している金銭や携帯電話等を狙った侵入窃盗事件が連続発生しています。

その手口は出入口扉や窓のガラスを割る、車両をぶつけてシャッターを破壊する等悪質なもので、被害店舗はリサイクルショップや中古車販売店、ガソリンスタンド等多岐にわたります。

店舗における防犯対策のポイント



防犯意識の保持等

- ・定期的に店舗内外の警戒を行う。
- ・閉店後は商品や鍵のかかる場所で保管する。
- ・閉店後は、現金を保管しない。

深夜帯の複数人勤務による安全確保

- ・相勤者が休憩等で単独になる場合でも、連携を怠らない。
- ・来店客に対しては、複数で対応する。

防犯設備の強化

- ・防犯カメラや防犯ミラーにより、店内の死角をなくす。
- ・ガラス面は、強化ガラスや防犯フィルムを使用する。
- ・非常通報装置や非常ベル等を設置する。

安全の確保と警察への迅速な通報

- ・身の安全を第一に考え、犯人に立ち向かわない。
- ・迅速に警察に通報できるよう、普段のシミュレーションを怠らない。

大阪府警察



日刊自動車新聞

記者 船山 知彦

中東情勢悪化でUAEへの中古車輸出9割減、ホルムズ海峡正常化の道筋は不透明なまま

日本の中古車の最大の輸出先であるアラブ首長国連邦(UAE)向けの出荷が9割消滅した。2月下旬、米国とイスラエルがイランを攻撃した。これに伴い海上輸送の要所であるホルムズ海峡が事実上封鎖され、UAEへの輸出が困難になった。この結果、同国への3月の輸出台数は前年同月比93.8%減の1,499台と急減。4月も同96.3%減の966台に沈んだ。6月に入ってもホルムズ海峡周辺は緊迫した状況にあり、先行きは不透明なままだ。

UAEは日本車を求める中東やアフリカ諸国のハブ拠点となっており、毎月2万台前後の中古車が日本から出荷されていた。2025年度の輸出台数は前年比0.4%増の22万7,663台となり、国別では首位だった。

3月(1,499台)は台数ベースでは、25年3月(2万4,037台)から2万2,538台の減少となった。4月(966台)は25年4月(2万6,148台)から2万5,182台の落ち込みだ。2カ月で約4万8,000台の出荷が無くなった計算となる。これはタイ(4万6,273台)やマレーシア(4万1,983台)の25年度実績を上回る規模だ。

UAE単体でみると、中東情勢の悪化に伴うインパクトは大きい。ただ、市場全体への影響は限定的だったとみられる。

3月の総輸出台数は前年同月比2.4%減の15万2,147台だった。UAE向けが2万台以上なくなったものの、マイナスは小幅だった。4月も同1.3%減の14万5,358台と微減にとどまった。

軍事衝突の直後には輸出事業者の間でも混乱が広まった。ただ、各事業者は状況に即座に対応し、別の仕向け地や地域に車両を振り分けたもよう。3、4月の輸出実績が落ちなかったこともその動きを裏付ける。

3月には、ホルムズ海峡周辺に待機船が増えたことで新たな船舶が入れなくなり、UAEなどに向かう船が一つ前の港で停泊せざるを得なくなる事態も発生した。これに伴う船舶の集中で、アジアの一部の港湾では機能不全が生じた。しかし、この問題も3月中には解消されたという。

UAE向けの輸出減少で中古車価格が下がるとの見立てもあった。中東に送られていた車両が国内に待機することで、需要と供給のバランスが緩和する可能性があったためだ。

ただ、軍事衝突後も中古車オークション(AA)の平均成約価格は上昇した。ユー・エス・エス(USS)の3月の落札価格は同9.3%減の122万円、4月は同14.6%増の122万1,000円となり、いずれも上回った。日本中古自動車販売商工組合連合会(JU中商連、塚田長志理事長)の落札価格も3月は同13.7%増の45万7,000円、4月は同17.0%増の46万円となり、ともにプラスだった。

UAEへの輸出は困難になったが、他地域の日本車需要は高いまま。国内の小売りも堅調なため、事業者の仕入れ意欲は衰えず、中古車価格が高止まりしたとみられる。

6月上旬時点では、米国とイスラエル、イランは停戦状態にある。ただ、戦闘終結に向けた協議は進んでいない。ホルムズ海峡も事実上封鎖された状態が続いている。

仮に、各国が戦闘の終結で合意しても、ホルムズ海峡の正常化には時間を要するとみられる。海峡周辺で滞留した船舶が一気に動きだせば、港湾が混雑する可能性もある。

これらを踏まえて、UAEへの輸出台数が従来の2万台規模に回復するのに「少なくとも数カ月はかかる」と見立てる関係者は少なくない。UAEは25年度まで3年連続で仕向け地別の首位だった。26年度は順位を大きく落としそうだ。

2025年度の自動車ローンの取扱高、4年ぶり減少 金利上昇で現金回帰背景か 日本クレジット協会統計

信販会社やメーカー系の販売金融会社が加盟している日本クレジット協会(山本豊会長)が6月2日までに発表した2025年度の自動車ローンの信用供与額(中古車を含む)は、前年度比1.4%減の5兆5,838億円だった。前年度を下回るのは、4年ぶり。新車や中古車の需要は根強いほか、車両価格の高騰を背景にローンの市場規模が拡大するポテンシャルは十分にあった。しかし、金利の上昇を受け、現金購入に回帰する動きが広がった可能性もありそうだ。

同協会がショッピングクレジット動態調査(対象は主要企業15社、提携ローン含む)の25年度実績をまとめた。これによると、自動車ローンの契約件数も、同3.8%減の211万8,001件と減少した。

自動車ローンの市場はこれまで、増加トレンドが続いていた。13年度に3兆7,000億円だった信用供与額は、半導体不足で新車市場が縮小した21年度を除いて右肩上がりで増加。23年度に初めて5兆円に到達し、24年度もさらに拡大した。

一方、24年3月に日銀がマイナス金利を解除したことを契機に、自動車ローンの金利も上昇が続く。例えば、全国の販売店で統一の金利を採用しているホンダの場合、現在の通常ローンの利率は5.8%。24年3月時点と比べて1.9ポイント高くなった。5年ローンで300万円の車両を購入した場合、総額で15万円以上変わる。負担が重くなることを嫌うユーザーが、ローン以外の選択肢を選んだケースがあったと想定される。

こうした状況が、各社の経営戦略にも波及している。自動車向けローンなどを取り扱うジャックスは、「(代理店向けの手数料の利上げで)取扱高が想定以上に毀損する」(村上亮社長)などとし、中期経営計画で掲げていた27年3月期の業績目標を引き下げた。

(日刊自動車新聞2026年6月3日)

三菱自の新中計、「らしさ」際立たせた商品で描く成長 台数減でもパジェロ起点にブランド価値を向上

三菱自動車は、「パジェロ」をはじめ独自色の強いモデル展開で収益力向上を目指す。同社はこれまでも「三菱自らしさ」を掲げ、SUVやピックアップトラックなど特徴的な商品を段階的に投入し、ブランド復権を図ってきた。ただ、2025年度までの中計経営計画では、米国関税など外部環境の変化で収益、販売台数目標ともに未達となった。26年度以降の新中計も前中計の数値目標を下回る実質的な「下方修正」となる。不確実性が高まる中、同社が強みを出せる商品と地域にリソースを集中投下し、年間販売100万台以下の「スモールプレイヤー」として生き残りを模索する。

「三菱自動車らしさの価値について、従来の『環境×安全・安心・快適』だったが、今回はより商品価値として定義する」。加藤隆雄最高経営責任者(CEO)はこう強調した。強みを持つ領域に経営資源を集中する戦略で、ブランド価値を高める。

その起点となるのが、26年度内に国内投入する「パジェロ」だ。1990年代のRVブームをけん引し、悪路走破性やラリーイメージとともに、三菱自ブランドを支えた象徴的なモデルだった。国内生産終了から約7年を経て復活するだけでなく、シリーズ化も打ち出す。過去には小型車「パジェロイオ」、軽自動車「パジェロミニ」を展開し、「パジェロ三兄弟」として人気を集めた。単一車種ではなくブランドとして育成することで、収益性の高いSUV市場で存在感を高めていく。

こうした戦略は「デリカシリーズ」ですでに一定の成果を上げている。「デリカD:5」と軽「デリカミニ」は、アウトドアやレジャー志向のユーザーや、女性など新規顧客獲得につなげた。パジェロのシリーズ化には、デリカで得た成功を横展開する狙いもありそうだ。

新中計では、販売台数よりも収益性を重視する。25年度の台当たり売上高は約300万円で、デリカシリーズや「アウトランダー」、「トライトン」といった三菱自らしさを体現した高価格帯モデル(アセアン戦略車を除く)の販売比率は約5割を占める。

今後6年間では、パジェロを含め13車種を投入する。31年度には台当たり売上高を約350万円へ引き上げ、高価格帯モデル比率も6割超を目指す。高付加価値モデルを増やし、ブランド力と収益力を同時に高める戦略だ。

そのため、単に新型車を投入するだけでなく、パジェロの投入に合わせて「ハイブランド旗艦店」を展開する計画も盛り込んだ。高価格帯モデルに見合う販売空間や顧客体験を整え、ブランド価値を引き上げる。販売現場も含めて三菱自らしさを演出し、差別化を図る考えだ。

販売戦略も見直した。従来は地域単位で戦略を展開してきたが、今後は市場特性に応じた「国別戦略」に転換する。日本、フィリピン、ベトナムを重点国、中東や中南米、インドネシアを育成国、豪州、タイ、米国を再建国と位置付け、それぞれに合わせた商品・販売戦略を進める。

29年度には営業利益1,600億円、営業利益率4.5%、世界販売90万台を目指す。前中計目標値である営業利益2,200億円、営業利益率7%、世界販売110万台を下回る。今中計を達成することで、長期的な成長を目指す盤石な経営基盤を構築できるかが問われそうだ。

(日刊自動車新聞2026年6月1日)

都市の均質化

近頃、東京、大阪、名古屋、あるいは福岡や札幌といった日本の主要都市を見てみると、奇妙な既視感に襲われます。主要ターミナル駅の改札を抜けると大抵、高架上に設置された歩行者専用の幅の広い大きな通路があります。そこから見える景色は、全面ガラス張りの高層ビルと、その足元に広がる整然とした芝生広場、そして日本中どこにでもある大手コーヒーチェーンと有名アパレルショップのロゴマークです。「この街は、どこかで見たことがある」。そんな感想を抱くのは、私が加齢と共に脳の機能が低下しているからでも、昨晚の酒が残っていて記憶を混濁させているからでもありません。実際に、日本の大規模再開発は今、驚くべき速度で均質化していつているのではないのでしょうか？かつて、都市には得体の知れない不思議な何かがありました。戦後の闇市の名残を感じさせる怪しげな路地裏、建築確認などお構いなしに増築された古いビル、そして少しばかりの危うさと隣り合わせのある種の活気が確かにありました。そこには、予測不可能な「出会い」や、その土地固有の歴史が堆積していました。しかし現在の再開発において、それらは不要なモノとして完全に排除されています。デベロッパーや行政が掲げる旗印は、常に「安心・安全・清潔」です。地震に強い構造、死角のない防犯カメラ網、誰にとっても不快感を与えない清潔な空間。それ自体は否定されるべきものではありません。IT

インフラが高度化し、スマートシティの名の下にすべてが可視化される現代において、管理の徹底は進化の証とされています。しかし、その「安心・安全・清潔」の代償として私たちが支払っているのは、都市が持つ生命力そのものではないのでしょうか？ 合理性を突き詰めて考えれば、テナントは賃料支払い能力の高いナショナルチェーンや大手企業に限られていきます。結果、どの町も大きなビルのテナントはどこも同じ顔ぶれとなります。エリアの動線は効率化され、人々は立ち止まることなく消費の現場へと誘導されていきます。結果として、札幌から博多まで、主要ターミナルの駅前にはコピー & ペーストされたかのように均一化され、いわば「都市の金太郎飴化」が起こってきています。どこを切っても同じ顔、同じ味。そこには、その街を訪れる必然性も、その街で暮らす誇りも、希薄なものになってしまうのではないかと心配になります。さらに皮肉なのは、こうした「完璧な管理」を目指す都市が、かえって人間の感性を摩耗させているのではないかと、懸念を感じる点です。専門家たちが構築した高度なセキュリティ環境は、確かに犯罪を抑止する効果が期待できるでしょう。しかし、カメラの死角が一切ない広場で、私たちは本当に「自由」を感じていられるのでしょうか。常に見守られているという安心感は、常に何者かに監視されているという緊張感と紙一重とも言えます。管理された「賑わい」の中で、私たち

は用意された椅子に座り、用意された景色を眺め、用意されたメニューを注文する。そこには、かつての都市が持っていた「何が起こるかわからない」という高揚感は微塵もありません。また、近年の再開発ビルに決まって設置される「屋上庭園」や「公開空地」についても、それらは緑豊かではあるけれども、どこか無機質で味気の無いものと感じます。植物までもが管理、制御され、落ち葉一枚、雑草一本許されないその空間は、自然というよりも「自然のシミュレーション」のように感じます。私たちは、不便さや雑然さを不要なものとして切り捨ててきました。しかし、文化とは往々にして、その「不便さ」や「雑然さ」の隙間から生まれるものではなかったでしょうか。路地裏の小さな店で交わされる無駄話や、行き止まりの道で見つけた奇妙な看板。そうした無駄の集積こそが、街の奥行きを形成していたはずです。現代の再開発が提示する未来予想図には、いつも笑顔のファミリーや清潔な若者たちがAIで人工的に描かれています。しかし、そのパースの中に「孤独な老人」や「居場所のない若者」、あるいは「得体の知れない放浪者」の姿はありません。排除することによって守られる平穏。それは、多様性を謳いながらも、その実、均質であることを強いる現代社会の縮図そのものではないでしょうか。もちろん、昭和の混迷に戻るべきだと言いたいわけではありません。災害への備えも、ITによる効率化も不可欠です。しかし、これからの都市開発に求められるのは、管理の精度を高めることなく、

いかにして「管理しきれない不可思議な余白」をあえて設計に組み込むか、ではないでしょうか。「安心・安全・清潔」という言葉に思考停止せず、その裏側で失われつつある街の体温に目を向ける事も大事です。最近、最新のビルで空調の利いたフロアにあえて屋台村のような雑然とした空間を演出し、飲食店を多く集めたスペースをよく見かけます。好き嫌いはあるかも知れませんが、これもある種のノスタルジーかアンチテーゼかも知れません。また、最短距離で目的地に着く地図アプリを使い、倍速でコンテンツを消費し、無駄を徹底的に排除したタイムパフォーマンス重視の行動パターン。効率を追求しすぎた結果、私たちは偶然の発見や路地裏の情緒という、都市が持つ最大の贅沢を失い、あつたとしても見落としてしています。効率化して浮いた時間で、私たちは結局スマホのショート動画を眺め続け、無為な時間を過ごしているだけです。最新のオフィスビルでもコロナ収束以降、出社回帰が増えてきています。当然IT環境は最新のものを整えています。ただ出社しても結局会議はwebで、目の前に座っている同僚ともチャットで会話するという滑稽な光景が生まれています。IT環境が完璧な企業は、リアル出社はもはや組織への忠誠心を確認する儀式の場になりつつあります。次にあなたがどこかの地方都市を訪れた際、都市の再開発はどうあるべきか、そんな事を考えながら散歩してみるのも面白いのではないのでしょうか？



医療保障プランのご案内

(家族特約付医療保障保険 (団体型))

【医療保障プランの特徴】

- ◇万一の入院に備えて医療保障が確保できます。
- ◇病気・災害による死亡を24時間保障します。
- ◇医師の診査ではなく、健康状態等の告知によるお申込み手続きです。
(※お申込みにあたっては、「告知に関する重要事項」をご覧ください。)
- ◇1年毎に収支計算を行い、剰余金が生じた場合は配当金があります。(※)
- ◇一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会の正会員である事業所の役員・従業員ならびに事務局職員の方だけが加入できる制度です。
- ◇配偶者様もご加入いただけます。(ただし、配偶者様のみのご加入は出来ません。)



(※)この保険は1年ごとに収支計算を行って、剰余金が生じた場合には配当金としてお支払いします。なお、配当金は契約ごとの収支実績にかかわらず、各取扱生命保険会社のお支払時期の前年度決算およびお引受金額により決定しますので、将来お支払いする配当金は現時点では確定していません。配当金は、今後のお支払いをお約束するものではなく、お支払いできないこともあります。(期中で脱退した場合、配当金は支払われません。)

2024年度分配当金還元率実績
年間保険料に対して**22.8%**(※)
(振込手数料除く)

【保障の内容】

保障内容	病気・ケガで継続して5日以上入院したとき	死亡したとき
	入院給付金額	死亡保険金額
本人・配偶者	日額 5,000円	10万円

入院給付金	加入日以後に発生した不慮の事故による傷害または発病した疾病を直接の原因として、その傷害または疾病の治療を目的として保険期間中に継続して5日以上入院された場合 ＊お支払事由に該当した場合、入院初日から数えて5日目以降の入院日数分について支払われます。 ＊お支払限度は1回の入院につき120日分、通算700日分を限度とします。
死亡保険金	保険期間中に死亡された場合 ＊お支払事由に該当し保険金等が支払われた場合には、その保障は消滅します。

【掛金例】

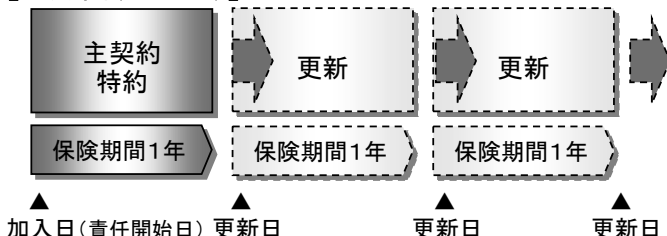
保険年齢	掛金(月払)
20歳	1,357円
30歳	1,637円
40歳	1,831円
50歳	2,672円
60歳	4,675円

掛金には保険料のほか加入者1名につき一律100円の制度運営費が含まれております。

- 表の数値は加入者が100名～299名の場合の概算掛金です。したがって、実際の加入者数が異なれば上表の掛金とは異なります。正規掛金は毎年申込締切後に算出し、契約日(更新日)から適用します。
- 毎年更新の際に該当する年齢区分が変更となる場合、掛金は前年度から変更になります。
- 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会会員の方について、病気やケガによる所定の入院等の保障を確保するために、団体を契約者として運営する団体保険商品です。
- 保険期間は1年ですが、所定の加入資格を有していれば更新により一定年齢まで継続してご加入いただくことが可能です。

※加入資格や保険金・給付金額、付加されている特約の内容は団体ごとの制度内容により異なります。詳しくは必ず「募集パンフレット」の該当箇所をご確認ください。

【しくみ図(イメージ)】



- このご案内は商品の概要を説明したものです。詳細につきましては「募集パンフレット」「ご契約に際しての重要事項(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。
- お仕事の内容・健康状態・保険のご加入状況などによっては、ご契約をお引き受けできない場合や保障内容を制限させていただく場合があります。

<引受保険会社>

SOMPOひまわり生命保険株式会社

〒100-8963 東京都千代田区霞が関3-7-3

損保ジャパン霞が関ビル

TEL 03-6742-3111(代表)

SOMPOグループの一員です。

HL-G-B1-26-00150(使用期限:2027.9.30)

<募集代理店:お申込み等に関する問い合わせ先>



伊藤忠オリコ保険サービス株式会社

〒102-0082 東京都千代田区一番町23番地3 フロントプレイス千代田一番町

営業時間:平日9:00~17:15 電話受付時間:平日9:00~16:00

- 契約内容について:個人保険サービス部【J会員様向け専用窓口】

TEL:03-3497-8326

E-mail:tkiis@itochuis.co.jp

- 保険金の請求について:顧客サービス部 損害サービス課

TEL:03-6842-7991 FAX:03-6626-3456

E-mail:tok-sg@itochuis.co.jp

第11回JAIA輸入二輪車試乗会・展示会



令和8年5月20日、21日の2日間、日本自動車輸入組合(JAIA)主催第11回輸入二輪車試乗会が大磯ロングビーチで開催され、インポーター11社から15ブランド84台(内展示車含む)が用意されました。



Triumph Scrambler 900



MOTO GUZZI V7 SPECIAL



BMW R12 G/S

【参加ブランド】

BMW Motorrad、Can-Am Spyder、
Can-Am Ryker、Ducati、Harley-Davidson、
KTM、Husqvarna Motorcycles、MV Agusta、
Royal Enfield、Aprilia、MOTO GUZZI、Vespa、
Indian Motorcycle、Triumph Motorcycle



Can-Am Spyder F3-S



BENDA NAPOLEON BOB 250

『月刊JU中販連』のWeb公開移行 および冊子郵送終了のお知らせ

会員の皆様へ毎月お届けしております、本誌『月刊JU中販連』につきまして、紙媒体での郵送を終了し、Webサイト上での公開へ移行することとなりました。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. JU会員販売店の皆様への紙媒体(冊子)の郵送終了：

令和8年9月号をもって終了いたします。

2. Web公開への移行：

「JU中販連」「JUジャナイト」「JUNABI&JUTREED」のWebサイト上に月刊JU中販連のバナーを掲載、バナーをクリックしていただくと、月刊JU中販連ページで最新号やバックナンバーなどがPDFとして閲覧できます。 ※Web公開済みです。

各県だより

JU沖縄

第1988回 初荷オークションを開催

JU沖縄(仲田裕治会長)は1月9日に、JU沖縄にて初荷オークション(第1988回AA)を開催しました。盛大に鏡開きを行い、活発なオークションが行われました。



仲田会長挨拶



鏡開きの様子

CS基礎研修会を開催



CS研修会の様子

J U兵庫(森本義則会長)は12月2日に、神戸市産業振興センターにてCS基礎研修会を開催しました。

当日は17名の受講者が参加し、お客様との深く長い付き合いのためには顧客満足(CS)が必要になること、どのようにお客様に満足していただけるかを学びました。

弁護士による消費者からのクレーム対応・注文書についての研修会を開催

また、同日にJ U中販連顧問弁護士による消費者からのクレーム対応・注文書についての研修会を開催しました。

当日は50名の受講者が参加し、お客様とトラブルが発生した際の対応の仕方や、中販連が推奨しているモデル注文書についての説明がされました。

弁護士研修会の様子



車両見極め初級研修を開催



研修の様子

さらに1月21日には、神戸市産業振興センターにて車両見極め初級研修を開催しました。

14名が参加し、修復歴や交換歴の見極め方、近年の車体構造等について学びました。

優良組合として千葉県知事から表彰



JU千葉(千崎悟之理事長)は1月23日に、「千葉県中小企業団体中央会創立70周年記念大会表彰式」において、優良組合として千葉県知事から表彰されました。

優良組合の8組合を代表して、千崎理事長が登壇し、熊谷千葉県知事より表彰状を受け取りました。

千崎理事長が代表として登壇

古物管理者講習会を開催

また、1月22日には、JU千葉オークションホールにて古物管理者講習会を実施しました。併せて、自動車税種別割の減免申請説明会も開催し、たくさんの会員販売店が受講しました。



全体写真



チャリティ月間として募金活動を実施



寄付金贈呈
左から千崎会長、尾関常務理事、信末正博指導環境委員長

さらに、10月はチャリティ月間として募金活動を行いました。

10月の1ヶ月間を通じて会場に募金箱を設置すると共に、関連協りレー・チャリティーオークションでは、出品台数×百円を寄付する企画を行いました。また同日、会場内で指導環境委員会・青年部会メンバーによる募金の呼びかけが行われ、来場された皆様からたくさんの募金をお預かりし、令和8年1月23日に社会福祉法人千葉県社会福祉協議会 交通遺児援護基金(尾関範子常務理事)へ50万円寄附をし、感謝状を受け取りました。

青年部会

車椅子贈呈プロジェクト第13弾

JU東京青年部会(澁谷有樹部会長)は1月13日に、東久留米市内2か所の社会福祉施設に車椅子を寄贈しました。

今回は青年部を代表して、角田渉青年部理事が現地に出向き、施設関係者に直接車椅子を手渡しました。今後も必要とする様々な施設の皆様に車椅子をお届けしていく方針です。



社会福祉法人竹恵会
特別養護老人ホームけんちの里



社会福祉法人マザアス
デイサービスセンター
マザアス氷川台

委員会の動き

令和8年度 第1回 執行部会

日時：令和8年6月3日(水)

出席者：塚田会長・理事長

場所：東京プリンスホテル

議事：①理事会・総会の運営及び進行について

②合同理事会上程議案について

③ブロック状況報告

④その他

高橋副会長・副理事長／新園副会長・副理事長／上田副会長・副理事長／掛下副会長・副理事長／奥村ブロック長・副理事長／伊藤ブロック長・副理事長／神保ブロック長・副理事長／海津理事・名誉会長／森本総務委員長／中西指導環境委員長／橋本流通委員長／小松金融委員長／加藤小売振興委員長／小原検査委員長／武藤専務理事／山下常務理事／永井常務理事／千原理事・事務局長／山内理事・事務局次長／鈴木理事・JUC副会長



2026年5月 カスタマー 問い合わせランキング

Vol.224

Powered by
リクルート自動車総研

カーセンサーnetにおけるカスタマーの車種別問い合わせ状況を、ランキングデータとして紹介しています。カスタマー(中古車購入検討者)が、今、どんなクルマを求めているのかの参考にご活用ください。

■カーセンサー月間問い合わせランキング

毎月の物件問い合わせ数のランキングをボディタイプ別に紹介します。今回は2026年5月のデータです。

第1位は前月に続きホンダ N-BOX(初代)

総合ランキング					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	ホンダ	N-BOX(初代)	→1位	201112	201708
2位	ホンダ	N-BOX(2代目)	→2位	201709	202309
3位	トヨタ	ハイエースバン(現行型)	→3位	200408	-
4位	日産	セレナ(5代目)	→4位	201608	202211
5位	トヨタ	アルファード(3代目)	→5位	201501	202305
6位	トヨタ	アクア(初代)	→6位	201112	202106
7位	トヨタ	プリウス(4代目)	→7位	201512	202211
8位	トヨタ	ハリアー(現行型)	→8位	202006	-
9位	スズキ	ハスラー(現行型)	↑10位	201912	-
10位	ホンダ	フリード(2代目)	↑12位	201609	202405

トップ3は前月と同じく、1位にホンダ N-BOX(初代)、2位にホンダ N-BOX(2代目)、3位にトヨタハイエースバン(現行型)となった。

第1位は前月2位からトヨタ クラウン(15代目)がランクアップ

セダン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	クラウン(15代目)	↑2位	201806	202310
2位	レクサス	IS(現行型)	↑3位	201305	-
3位	トヨタ	クラウンアスリート(4代目)	↓1位	201212	201806
4位	トヨタ	マークX(2代目)	→4位	200910	201912
5位	日産	スカイライン(現行型)	↑6位	201311	-

トップは前月2位からトヨタ クラウン(15代目)が、2位は前月3位からレクサス IS(現行型)がランクアップ。3位は前月1位のトヨタ クラウンアスリート(4代目)。

第1位は前月に続きトヨタ ハイエースバン(現行型)

ミニバン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	ハイエースバン(現行型)	→1位	200408	-
2位	日産	セレナ(5代目)	→2位	201608	202211
3位	トヨタ	アルファード(3代目)	→3位	201501	202305
4位	ホンダ	フリード(2代目)	→4位	201609	202405
5位	三菱	デリカD:5(現行型)	→5位	200701	-

トップ3は前月と同じく、1位にトヨタ ハイエースバン(現行型)、2位に日産 セレナ(5代目)、3位にトヨタ アルファード(3代目)となった。

第1位は前月に続きスバル レヴォーグ(初代)

ステーションワゴン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	スバル	レヴォーグ(初代)	→1位	201406	202009
2位	ホンダ	シャトル(初代)	↑3位	201505	202211
3位	スバル	レヴォーグ(現行型)	↑4位	202010	-
4位	トヨタ	カローラツーリング(現行型)	↓2位	201909	-
5位	トヨタ	プロボックスバン(現行型)	→5位	200207	-

トップは前月と同じくスバル レヴォーグ(初代)。2位は前月3位からホンダ シャトル(初代)が、3位は前月4位からスバル レヴォーグ(現行型)がランクアップ。

第1位は前月に続きトヨタ ハリアー(現行型)

クロカン/SUV					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	ハリアー(現行型)	→1位	202006	-
2位	ホンダ	ヴェゼル(現行型)	↑3位	202104	-
3位	トヨタ	ヤリスクロス(現行型)	↑4位	202008	-
4位	トヨタ	ライズ(現行型)	↓2位	201911	-
5位	マツダ	CX-5(2代目)	↑6位	201612	202604

トップは前月と同じくトヨタ ハリアー(現行型)。2位は前月3位からホンダ ヴェゼル(現行型)が、3位は前月4位からトヨタ ヤリスクロス(現行型)がランクアップ。

第1位は前月に続きトヨタ アクア(初代)

ハッチバック					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	アクア(初代)	→1位	201112	202106
2位	トヨタ	プリウス(4代目)	→2位	201512	202211
3位	トヨタ	プリウス(3代目)	→3位	200905	201511
4位	日産	ノート(2代目)	→4位	201209	202011
5位	トヨタ	ルーミー(初代)	↑6位	201611	-

トップ3は前月と同じく、1位にトヨタ アクア(初代)、2位にトヨタ プリウス(4代目)、3位にトヨタ プリウス(3代目)となった。

第1位は前月に続きホンダ N-BOX(初代)

軽自動車					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	ホンダ	N-BOX(初代)	→1位	201112	201708
2位	ホンダ	N-BOX(2代目)	→2位	201709	202309
3位	スズキ	ハスラー(現行型)	→3位	201912	-
4位	ダイハツ	タント(2代目)	→4位	200712	201309
5位	スズキ	ハスラー(初代)	→5位	201401	201911

トップ3は前月と同じく、1位にホンダ N-BOX(初代)、2位にホンダ N-BOX(2代目)、3位にスズキ ハスラー(現行型)となった。

第1位は前月に続きトヨタ 86(初代)

クーペ					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	86(初代)	→1位	201204	202110
2位	トヨタ	GR86(現行型)	→2位	202110	-
3位	ホンダ	CR-Z(絶版)	↑4位	201002	201701
4位	スバル	BRZ(初代)	↓3位	201203	202106
5位	マツダ	RX-8(絶版)	↑11位	200304	201206

トップ2は前月と同じく、1位にトヨタ 86(初代)、2位にトヨタ GR86(現行型)。3位は前月4位からホンダ CR-Z(絶版)がランクアップ。

第1位は前月に続きマツダ ロードスター(現行型)

オープン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	マツダ	ロードスター(現行型)	→1位	201505	-
2位	マツダ	ロードスターRF(現行型)	↑3位	201612	-
3位	マツダ	ロードスター(3代目)	↓2位	200508	201504
4位	ホンダ	S2000(絶版)	→4位	199904	200906
5位	レクサス	LCコンバーチブル(現行型)	↑6位	202007	-

トップは前月と同じくマツダ ロードスター(現行型)。2位は前月3位からマツダ ロードスターRF(現行型)がランクアップ。3位は前月2位のマツダ ロードスター(3代目)。

2026年5月オークション結果

会場	開催数	出品台数		成約台数		成約率 (%)	成約金額(千円)		平均単価(千円)
		合計台数(台)	1回平均	合計台数(台)	1回平均		金額合計	1回平均	
札幌	4	3,457	864	2,462	616	71.2%	1,042,300	260,575	423
帯広	4	244	61	134	34	54.9%	61,423	15,356	458
釧路	3	250	83	115	38	46.0%	94,025	31,342	818
函館	4	481	120	279	70	58.0%	170,367	42,592	611
室蘭	3	186	62	77	26	41.4%	31,879	10,626	414
旭川	4	161	40	110	28	68.3%	46,646	11,662	424
北見	3	166	55	113	38	68.1%	73,521	24,507	651
北海道	25	4,945	198	3,290	132	66.5%	1,520,161	60,806	462
青森	2	530	265	447	224	84.3%	87,986	43,993	197
岩手(※)	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
秋田	4	1,038	260	853	213	82.2%	146,710	36,678	172
宮城	4	4,837	1,209	3,553	888	73.5%	1,232,169	308,042	347
山形	1	232	232	136	136	58.6%	43,024	43,024	316
福島	3	3,827	1,276	1,952	651	51.0%	830,367	276,789	425
東北	14	10,464	747	6,941	496	66.3%	2,340,256	167,161	337
栃木	4	2,804	701	747	187	26.6%	264,704	66,176	354
新潟	4	3,803	951	2,743	686	72.1%	820,163	205,041	299
群馬	3	2,464	821	1,270	423	51.5%	428,708	142,903	338
茨城	3	1,552	517	995	332	64.1%	338,597	112,866	340
千葉	4	5,321	1,330	3,665	916	68.9%	2,351,290	587,823	642
埼玉	3	6,526	2,175	3,954	1,318	60.6%	2,482,780	827,593	628
東京	3	3,809	1,270	1,967	656	51.6%	1,001,079	333,693	509
神奈川	3	2,004	668	1,367	456	68.2%	650,207	216,736	476
山梨	4	164	41	96	24	58.5%	18,485	4,621	193
長野	3	1,128	376	373	124	33.1%	99,672	33,224	267
関東甲信越	34	29,575	870	17,177	505	58.1%	8,455,685	248,697	492
静岡	3	1,909	636	1,013	338	53.1%	295,021	98,340	291
愛知	3	11,446	3,815	8,580	2,860	75.0%	4,611,427	1,537,142	537
岐阜	4	23,226	5,807	11,649	2,912	50.2%	8,086,653	2,021,663	694
三重	3	2,404	801	1,124	375	46.8%	556,589	185,530	495
富山	3	1,322	441	780	260	59.0%	272,972	90,991	350
石川	3	1,174	391	764	255	65.1%	322,163	107,388	422
福井	1	325	325	174	174	53.5%	45,416	45,416	261
中部	20	41,806	2,090	24,084	1,204	57.6%	14,190,241	709,512	589
滋賀	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
京都	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
奈良	4	1,096	274	685	171	62.5%	294,040	73,510	429
大阪	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
兵庫(※)	4	338	85	25	6	7.4%	37,369	9,342	1,495
近畿	4	1,096	274	685	171	62.5%	294,040	73,510	429
岡山(※)	1	490	490	216	216	44.1%	121,003	121,003	560
鳥取	1	124	124	113	113	91.1%	23,360	23,360	207
島根	1	202	202	178	178	88.1%	46,655	46,655	262
広島	3	3,587	1,196	1,952	651	54.4%	696,640	232,213	357
山口	3	616	205	251	84	40.7%	144,123	48,041	574
香川	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
愛媛	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
徳島	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
高知	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
中四国	9	5,019	558	2,710	301	54.0%	1,031,781	114,642	381
福岡	4	4,648	1,162	2,466	617	53.1%	826,711	206,678	335
佐賀	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
長崎	1	557	557	354	354	63.6%	59,570	59,570	168
大分	2	891	446	725	363	81.4%	99,112	49,556	137
熊本	3	775	258	439	146	56.6%	71,120	23,707	162
宮崎	2	394	197	322	161	81.7%	83,926	41,963	261
鹿児島	4	1,273	318	667	167	52.4%	204,570	51,143	307
沖縄	4	1,935	484	1,258	315	65.0%	269,363	67,341	214
九州	20	10,473	524	6,231	312	59.5%	1,614,372	80,719	259
全国計	126	103,378	820	61,118	485	59.1%	29,446,536	233,703	482

※ J U岩手、J U岡山の実績は、提携オークションへの協力台数。J U兵庫の実績はJ U岐阜に含まれるため、近畿計及び全国計から除外。

2026年4月の都道府県別中古車登録・届出台数

都道府県		登録自動車				軽自動車	登録自動車 軽自動車 合計
		新規	移転	変更	合計		
北海道	札幌	3,091	5,693	743	9,527	7,824	17,351
	函館	347	749	343	1,439	1,236	2,675
	旭川	542	1,357	143	2,042	1,494	3,536
	室蘭	546	1,045	121	1,712	856	2,568
	釧路	365	830	249	1,444	838	2,282
	帯広	478	914	125	1,517	788	2,305
	北見	281	618	74	973	726	1,699
	計	5,650	11,206	1,798	18,654	13,762	32,416
東北	青森	999	2,098	215	3,312	3,593	6,905
	岩手	1,176	1,930	270	3,376	3,261	6,637
	宮城	2,086	3,576	451	6,113	5,122	11,235
	秋田	793	1,431	138	2,362	2,924	5,286
	山形	1,011	1,550	468	3,029	3,056	6,085
	福島	1,741	3,383	439	5,563	4,212	9,775
		計	7,806	13,968	1,981	23,755	22,168
関東	茨城	3,293	7,205	660	11,158	6,914	18,072
	栃木	2,013	4,236	453	6,702	4,568	11,270
	群馬	1,954	4,417	392	6,763	5,045	11,808
	埼玉	4,891	10,517	931	16,339	9,463	25,802
	千葉	4,918	11,252	934	17,104	8,604	25,708
	東京	5,471	12,194	1,331	18,996	5,188	24,184
	神奈川	4,916	10,911	872	16,699	8,711	25,410
	山梨	751	1,565	193	2,509	2,319	4,828
	計	28,207	62,297	5,766	96,270	50,812	147,082
北陸信越	新潟	1,904	3,713	490	6,107	6,920	13,027
	富山	904	1,662	233	2,799	3,372	6,171
	石川	1,116	1,882	177	3,175	2,891	6,066
	長野	1,591	3,739	425	5,755	5,940	11,695
		計	5,515	10,996	1,325	17,836	19,123
中部	福井	626	1,165	172	1,963	2,305	4,268
	岐阜	1,928	3,732	412	6,072	6,065	12,137
	静岡	3,057	5,761	526	9,344	9,502	18,846
	愛知	6,390	13,418	1,296	21,104	12,447	33,551
	三重	1,563	3,422	280	5,265	4,370	9,635
		計	13,564	27,498	2,686	43,748	34,689
近畿	滋賀	1,001	2,224	155	3,380	3,655	7,035
	京都	1,370	2,765	298	4,433	3,976	8,409
	大阪	4,706	9,219	1,448	15,373	8,570	23,943
	奈良	788	1,707	122	2,617	2,548	5,165
	和歌山	535	1,250	83	1,868	2,874	4,742
	兵庫	3,621	7,408	589	11,618	8,167	19,785
	計	12,021	24,573	2,695	39,289	29,790	69,079
中国	鳥取	404	721	94	1,219	1,657	2,876
	島根	468	767	140	1,375	1,940	3,315
	岡山	1,373	2,979	376	4,728	5,447	10,175
	広島	1,624	3,447	467	5,538	6,693	12,231
	山口	922	1,972	270	3,164	3,520	6,684
		計	4,791	9,886	1,347	16,024	19,257
四国	徳島	509	979	130	1,618	2,195	3,813
	香川	729	1,372	170	2,271	2,512	4,783
	愛媛	787	1,677	254	2,718	3,613	6,331
	高知	320	659	84	1,063	2,065	3,128
		計	2,345	4,687	638	7,670	10,385
九州	福岡	3,598	8,516	1,561	13,675	10,734	24,409
	佐賀	619	1,404	144	2,167	2,305	4,472
	長崎	690	1,544	211	2,445	3,566	6,011
	熊本	1,287	2,848	271	4,406	5,383	9,789
	大分	788	1,824	235	2,847	3,622	6,469
	宮崎	765	1,533	235	2,533	3,666	6,199
	鹿児島	1,057	2,132	393	3,582	6,012	9,594
	計	8,804	19,801	3,050	31,655	35,288	66,943
沖縄	2,278	3,204	307	5,789	8,156	13,945	
全国	90,981	188,116	21,593	300,690	243,430	544,120	

5月の新車・中古車登録台数

新車登録台数（ナンバーベース）

（単位：台、％）

車種	当月(A)	前年(B)	A/B%	本年累計(C)	前年累計(D)	C/D%
普通乗用車	120,416	116,301	103.5	713,588	753,148	94.7
小型乗用車	67,070	61,679	108.7	374,114	355,053	105.4
小計	187,486	177,980	105.3	1,087,702	1,108,201	98.2
普通貨物車	9,470	9,860	96.0	59,227	58,194	101.8
小型貨物車	17,119	15,097	113.4	96,936	80,806	120.0
小計	26,589	24,957	106.5	156,163	139,000	112.3
バス	919	586	156.8	4,977	4,965	100.2
合計	214,994	203,523	105.6	1,248,842	1,252,166	99.7

中古車登録台数

（単位：台、％）

車種	当月(A)	前年(B)	A/B%	本年累計(C)	前年累計(D)	C/D%
普通乗用車	148,254	156,135	95.0	831,052	827,672	100.4
小型乗用車	87,456	93,674	93.4	496,992	520,239	95.5
小計	235,710	249,809	94.4	1,328,044	1,347,911	98.5
普通貨物車	14,087	14,173	99.4	72,228	71,988	100.3
小型貨物車	16,223	16,794	96.6	87,567	84,876	103.2
小計	30,310	30,967	97.9	159,795	156,864	101.9
バス	1,257	1,054	119.3	6,156	6,503	94.7
その他	6,218	6,452	96.4	32,849	31,732	103.5
総合計	273,495	288,282	94.9	1,526,844	1,543,010	99.0

（注）「その他」には、特殊車・特種車等の車種を含む。

主要都道府県別 中古車新規・移転・変更登録台数

（単位：台、％）

主な県	普通貨物	前年比	バス	普通乗用	前年比	小型貨物	前年比	小型乗用	前年比	総合計	前年比
北海道	1,177	83.5	56	8,156	94.7	1,031	96.0	5,114	95.1	16,045	93.7
岩手	182	108.3	5	1,528	94.0	204	104.1	1,133	94.7	3,111	94.6
宮城	274	64.6	35	2,864	94.8	307	92.5	2,099	99.2	5,708	94.5
福島	273	113.8	12	2,563	91.5	273	88.3	1,763	87.5	4,991	90.7
茨城	765	105.1	17	5,224	94.6	629	89.1	3,496	96.7	10,374	95.5
埼玉	922	113.7	32	8,308	98.6	871	93.8	4,643	93.3	15,122	97.3
千葉	831	113.4	44	8,305	95.0	863	94.2	4,608	91.7	15,025	94.1
東京	500	96.5	319	11,117	96.0	986	97.0	4,415	91.3	17,719	96.6
神奈川	616	121.5	46	9,305	93.9	846	96.9	4,701	96.5	15,835	96.1
新潟	215	87.4	12	2,764	92.1	334	94.6	1,928	91.9	5,360	91.7
静岡	429	116.6	16	4,257	93.6	519	100.0	2,838	94.5	8,218	95.3
愛知	873	101.5	44	11,278	97.6	1,158	98.8	5,992	94.7	19,680	97.0
大阪	581	88.8	68	7,431	93.3	994	93.2	4,005	90.3	13,400	92.3
兵庫	364	74.9	22	6,373	95.4	545	97.5	3,034	93.2	10,563	94.0
広島	214	85.6	16	2,785	95.9	267	83.4	1,768	93.0	5,163	92.9
香川	113	96.6	4	1,141	95.4	136	88.9	689	95.7	2,145	95.7
福岡	579	106.6	103	6,993	94.8	737	96.7	3,813	90.0	12,616	95.0
その他	5,179	101.4	406	47,862	94.5	5,523	99.7	31,417	93.3	92,420	94.7
全国計	14,087	99.4	1,257	148,254	95.0	16,223	96.6	87,456	93.4	273,495	94.9

（注）総合計には、すべての車種を含む。その他は表示以外の県の合計。

月刊「JU中販連」 令和8年7月号 第55巻 第7号 通巻616号

令和8年6月30日発行（毎月1回月末発行）

定価300円 送料80円

発行 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会（JU中販連）

（会員あて1部の購読料は会費に含まず）

編集人 武藤 孝弘

東京都渋谷区代々木3-25-3 あいおいニッセイ同和損保新宿ビル10階（〒151-0053）電話03(5333)5881